

平成30年度

学校関係者評価報告書
(中 間)

平成30年10月 1日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

はじめに

宮崎医療管理専門学校では、学則及び自己点検・評価規程に拠り、自己点検及び学校自己評価を実施しております。平成30年度の学校運営や教育活動等につきましても、年度初めに全教職員に提示した要項に基づき、年間を通して評価を行うこととしており、中間の結果を平成30年9月27日に報告書として取りまとめました。

以上をもとに、平成30年9月28日に第1回学校関係者評価委員会を開催しましたので、その評価結果について、ここに報告いたします。

なお、本報告書につきましては、学校自己評価報告書と同様、本校のホームページにて公開いたしますことを申し添えます。

平成30年10月 1日
学校法人 東洋学園
宮崎医療管理専門学校
学校長 川野 竜太郎

1. 宮崎医療管理専門学校 学校関係者評価委員会 委員一覧

関係機関・団体・企業	職名	氏名	備考
医療法人 慶明会	常務理事	牧野 剛	
社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	総務課長	井畑 信二	
医療法人社団 善仁会 総合健診センター	統括	川端 利彦	委員長
社会福祉法人 芳生会	施設長	坂口 和幸	同窓会会長
社会福祉法人 恵浄福祉会	園長	川添 教道	
医療法人財団 高信会	総括課長	野中 恵子	

事務局

宮崎医療管理専門学校	学校長	川野 竜太郎	自己点検・評価 委員会委員長
〃	教務部長	川野 哲朗	自己点検・評価 委員会委員

2. 委員会次第等

1) 日時 平成30年 9月28日(金) 14:00~15:00

2) 場所 宮崎医療管理専門学校 会議室

3) 次第

- (1) 開会、委員長挨拶
- (2) 事務局挨拶
- (3) 平成30年度自己点検・評価報告(中間)
- (4) 各委員からの評価及び意見
- (5) まとめ

3. 内容

1) 川端委員長挨拶

今年度中間の学校自己評価をふまえ、特に学校経営に関連する事項について委員それぞれの評価やこれまでの視点を変え、忌憚のない意見等を出していただき、当校の改善につなげていきたい旨の内容。

2) 事務局（学校長）挨拶

学生募集状況の厳しい中、各委員の評価や意見、関係団体等との連携、協力をいただきながら、具体的な改善に努めていきたい旨の内容。

3) 自己点検・評価の取り組み状況、結果について

- ・学校評価の内容、方法、根拠の説明 <事務局：教務部長>
- ・平成30年度中間評価報告及び人事考課講評 <事務局：学校長>

<評価項目>

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--------|
| 1 教育理念・教育目標 | 2 学校運営 | 3 教育活動 | 4 学修成果 |
| 5 学生支援 | 6 教育環境 | 7 学生の受け入れ募集 | 8 財務 |
| 9 法令等の遵守 | 10 社会貢献・地域貢献 | | |

4) 各委員からの評価及び意見 ※質問を含む

(1) 川端委員長

- ・オープンキャンパスの参加者について（項目7）
→ 事務局：保護者同伴が増えている。
保護者を対象とした内容や直接PRする方法について検討してはどうか。
同窓会（関連団体）としても協力できる部分があると考える。
- ・学生の通学状況について
→ 事務局：遠方からも通学しており、県外出身者がほとんどいない中、地元アパートで生活している学生は1割程度。
※JR駅から近いこと等の便性や地域貢献（項目10）からも地元居住につながる手立てについて検討したい。
- ・求人状況について（項目4）
→ 事務局：好調であり、昨年同様、県内外から多くの求人をいただいているが、学生数減や福祉離れ等もあり、ニーズに応えられない状況。

(2) 牧野委員

- ・学校評価（項目3）について、根拠や客観的な視点でよくなされており、昨年度の評価や改善事項についても協議、検討されていることが窺える。
- ・資格取得（項目4）について、評価が上がっていない理由は何か。
→ 事務局：各科とも主となる資格については、体制等の改善に努めているが、学校案内にも記載している目標資格については、手薄なところもある。積極的な関わりも含め手立てを講じていきたい。
- ・オープンキャンパスの回数、他のイベントについて（項目7）
→ 事務局：大学と比べても多く、これまで6回開催。ミニオープンや土

日に社会人も対象とした説明会を実施。
※開催数や内容、説明会の実施方法等、検討、改善を要す。

(3) 井畑委員

- ・財務状況（項目8）にある「目標達成は困難」の根拠は何か。
 - 事務局：入試前の募集状況から担当部署提示の学生確保の目標数達成が困難であり、運営委員会等で年度後半の対策について検討を行う。
- ・種々の社会貢献（項目10）を通して、学校の認知度を高めていく。

(4) 野中委員

- ・学生募集活動（項目7）に関連し、オープンキャンパス前のCMは効果的。同様に以前にない取組に期待する。オープンキャンパス時の送迎はどうか。
 - 事務局：CMについては、時期、回数や内容について検討し継続させたい。送迎について、業者バスも活用し多方面から運行しているが、保護者同伴が増えている状況やコストを考慮し、変更を含め検討したい。
- ・介護福祉士資格取得について（項目3）、合格率100%を基本に取り組んでいただきたい。学生募集上も重要なポイントになる。
 - 事務局：模試結果等をもとにした個別指導や関係科目の担当教員との連携強化等により合格率アップに努めたい。

(5) 坂口委員

- ・こども科の反応、募集状況（項目7）はどうか。
 - 事務局：問い合わせ等が多いが、オープンキャンパス参加が期待したほどではなく、いまひとつの反応である。高校生の進路選択に係る活動が早くなってきていることや学科改編に伴う手続き上、募集期間が短かったことも影響していると思われる。対応について早急に検討したい。
- ・介護人材について
 - ※牧野委員のコメント、関連資料提示を含む。
 - ※学校運営や学生募集、財務状況（項目2、7、8）に関連
 - 介護の人材不足は深刻だが、首都圏では外国人（技能訓練生）受入れにより人材を確保しているところもある。現場での人材育成（研修）により、養成校を取り巻く環境は益々厳しくなっている。国策としても要介護者数の高止まり時期を考え、専門職の養成、確保の対策というより、外国人雇用に係る制度を拡充している状況。受験対象者は確実に減少していき、経営的な改善の見通しは厳しい。関係者（管理組合、エージェント等）とのつながりをつけることも含め、外国人学生受け入れについても検討する時期にきているのではないかと。
 - ※受け入れについて部分的な検討はあったが、今後の情勢も見極め、あらためて検討していきたい。
- ・学修成果（項目4）と学生支援（項目5）に関連し、就職後の状況や評価が学校の評価にも影響する。就職先との連携（連絡、訪問等）に努め、卒業生のフォロー体制について充実させ、継続して行ってほしい。

(6) 川添委員

- ・学生募集（項目7）について、体験授業等で積極的に協力していきたい。
- ・オープンキャンパス等学生募集に関するイベントや内容について、募集対象（高校生等）の意見をアンケート等で積極的に取り入れてはどうか。保育現場としても、要望に応じて協力できると思う。
- ・危機管理マニュアルについてどうなっているか（項目6）。保育園ではマニュアルを整備しており、月1回、種々の訓練を実施している。
→ 事務局：防災組織及び計画のもと、年に1回の訓練を行っているが、実施のあり方について検討し改善していきたい。

5) まとめ

川端委員長

本委員会での意見、評価等を、今後の具体的な改善やカリキュラム編成、学科改編、改組等に活かしていただきたい。また、今後とも、様々な機会を通して、各委員はじめ現場の意見としてフィードバックしていき、本校評価に係る諸課題の改善につなげたい。

※ [教育理念・教育目標] [法令等の遵守] について、特にご意見等なかった。

以 上